

## 摂津市地域防災計画（案）に対するパブリックコメントの結果について

摂津市地域防災計画（案）に対するパブリックコメントの結果について、次のとおり公表します。

### ●実施概要

項目	内容
実施期間	令和8年1月5日（月）～同年2月4日（水）
意見の提出方法	防災危機管理課へ持参、郵送、FAXにて提出 市ホームページのメールフォームからの提出
摂津市地域防災計画（案）の 閲覧場所	市ホームページ 市役所本館1階 情報コーナー 市役所本館2階 防災危機管理課執務室 千里丘公民館、コミュニティプラザ、正雀市民ルーム、 安威川公民館、別府コミュニティセンター、 味生公民館、鳥飼図書センター、新鳥飼公民館、 鳥飼東公民館

### ●周知方法

方法	期間・日時等	備考
広報せつつへの 記事掲載	令和8年1月号	
市ホームページの 公開	令和8年1月5日（月）9時から 同年2月5日（木）0時まで	期間中の当該ページ閲覧数 1,019件
市公式LINEの配信	令和8年1月8日（木）20時	
防災サポーター研修 講座での周知	令和8年1月17日（土） 令和8年1月24日（土）	

### ●実施結果

項目	内容
意見提出件数（人数）	9件（8人） 内、書面による提出8件、電子メールでの提出1件
ご意見・ご提言並びに市の考 え方及び修正の有無	P2からP8のとおり。

No.1	該当ページ：総則 2	分類：避難生活
<p><b>【ご意見・ご提言】</b></p> <p>阪神淡路震災を被ったものです。</p> <p>当日は、停電、ガス配管の損傷、避難場所に指定されていなかった高校への避難、役所、警察、TV、ラジオ、連絡がつくところが無い、情報が無い。道路が割れ、隆起し車両が動けない。</p> <p>交通も麻痺、防災対策を書面の上で計画しても、担当者が被災している。公共機関も被災している。</p> <p>地域の担当者を決めて、初日から4日間ほどは、避難場所に一人のリーダーそれを助ける数人が必要です。</p> <p>電気が無いのならどうするか、避難場所の規律、冬だと毛布一枚では耐えられません。トイレも水が無く流せません衛生面、おむつ、ミルク、生理用品、ゴミ袋、暖房、発電機、レトルト、湯沸かし、隣との壁、通路確保。4日間ほど地域で対応出来れば、援助が届きます。</p> <p>仮設が遠すぎて、地元に戻れない、住民の流出が有る。宜しくお願いします。</p>		
<p><b>【市の考え方】</b></p> <p>避難所運営につきましては、予防-26に記載のとおり、関係者と共同で避難所運営マニュアルの作成に取り組むなど運営体制の充実を図ってまいります。また、予防-49～予防-51に記載のとおり、自主防災組織への支援や、防災サポーターの養成に取り組んでまいります。</p> <p>防災資機材等につきましては、予防-3に記載のとおり、大阪府域救援物資対策協議会が定める「大規模災害時における救援物資に関する今後の備蓄方針について」や過去の大規模災害の教訓などを踏まえ、資機材等の備蓄に努めるとともに、民間事業者との協定を通じて確保に努めてまいります。</p> <p>仮設住宅につきましては、資料19に記載のとおり、市内の公園や広場を建設候補地としているほか、地震-83に記載のとおり、市内の民間賃貸住宅の空家等を借り上げることも選択肢の1つとしております。</p>		
<p style="text-align: center;">修正の有無：無</p>		

No.2	該当ページ：—	分類：水害対策
<p><b>【ご意見・ご提言】</b></p> <p>最近では、地震、豪雨、台風、自然災害、山火事、人的災害（たばこ、焚火）で家を喪失、人命をなくす人も出ている。</p> <p>堤防の決壊。摂津市は川に囲まれている地区が多く、危険な地区である。1か所の決壊で3m～5m以上の水害が出る恐れが多く家の喪失、人命が襲われ甚大な被害が出る。</p> <p>すべき対策は早くしておかないと遅くなればなる程甚大な災害になる事を知るべきである。</p> <p>以前、安威川側面に約100mに渡りひび割れがあり早く補修するよう茨木土木に連絡したときには、堤防は100年先を見て建設しているので大丈夫との返事。工事するまで約2か月かかった。災害の危険性がわかっていないこの様な職員が多くいるのが恐ろしい。</p> <p>早く対策すれば少ない費用で済むが、災害が起こってからだと50倍～100倍の費用になる。</p> <p>ハード対策：堤防の建設耐震補強 ソフト対策：避難訓練、防災教育、防災情報、避難計画等</p>		
<p><b>【市の考え方】</b></p> <p>ハード面の対策につきましては、予防-64に河川管理者が、河川堤防及び河川構造物について耐震点検に基づき耐震対策等を実施する旨を位置付けております。また、予防-66に国土交通大臣管理河川及び大阪府知事管理河川の改修について位置付けております。</p> <p>ソフト面の対策につきましては、予防-46及び予防-47に摂津市の水害リスクや水害時の広域避難の必要性、マイ・タイムラインの作成、水害時の警戒レベル等の普及啓発を図る旨を、予防-47及び予防-48に防災教育に関する旨を位置付けております。</p>		
<p style="text-align: center;">修正の有無：無</p>		

No.3	該当ページ：資料 5、9、10、11、12	分類：環境センターの活用
<p><b>【ご意見・ご提言】</b></p> <p>私は、環境センターのすぐ近くの住人です。 給食センター設立、環境センターの公園への変更等、説明会他で知りました。 しかし、解体時の近隣への影響や、この近くに災害時に避難できる安全な場所がないと思います。 この辺りは、年配者が多く遠くへの避難はできないので、環境センターを残していただいて、私たちの避難場所として残してほしいです。 よろしくをお願いします。</p>		
<p><b>【市の考え方】</b></p> <p>水害時は鶴野地域において、【資料 11】に記載のとおり、123 摂津店及びアドリーム千里丘を緊急避難場所として確保しております。 しかしながら、水害が発生した場合の浸水継続時間が長時間にわたる想定であることから、緊急避難場所での避難は劣悪な生活環境で健康を害しやすくなるなどのリスクを伴います。 そのため、浸水のおそれがない市域外の安全な場所へ避難する広域避難を第 1 の選択肢として推奨しております。 また、地震時は柳田地区において、同資料に記載のとおり、三宅柳田小学校や第三中学校、摂津高等学校などを避難所として確保しております。 現在、本市では鶴野地域における公共施設の再編として、環境センターを解体し、その跡地を高台公園として整備することを計画しており、当該公園は一時的な避難場所としても活用することを想定しております。また、新たに高台公園を整備することに伴い、鶴野第 2 公園を廃止し、その跡地に給食センターを整備する計画ともなっております。 一方で、計画全体のスケジュールが延期となったことを踏まえ、環境センターにつきましても、建物がある間の水害時の活用について検討してまいります。</p>		
<p>修正の有無：無</p>		

No.4	該当ページ：資料 5、9、10、11、12	分類：環境センターの活用
<p><b>【ご意見・ご提言】</b></p> <p>環境センター解体については、近隣への影響はないと聞きました。しかし、環境センター横に汚染された木があり、あれを見れば、本体の建物の解体には不安があります。</p> <p>広い公園も年齢問わず喜ばれます。しかし、なじみのある第2公園をつぶす事は悲しい人がたくさんいます。</p> <p>このままで環境センターの建物を安全に利用できるよう、災害用の避難や備蓄倉庫にできたらと思います。</p> <p>鶴野は、2本の川に挟まれており、川向うへの避難が不可能になるおそれがあります。</p> <p>鶴野内での避難場所に。高齢者が多いことも考えてください。</p>		
<p><b>【市の考え方】</b></p> <p>No.3 と同様です。</p>		
修正の有無：無		

No.5	該当ページ：資料 5、9、10、11、12	分類：環境センターの活用
<p><b>【ご意見・ご提言】</b></p> <p>環境センターの解体については、粉塵の問題が大いにあり、近隣に住む私たちはどこへ逃げたらいいのですか。</p> <p>環境センターの建物は頑丈に建てられていると思います。鶴野地域に水害があればどこへ避難すればいいのでしょうか。</p> <p>昔から、水没したら、なかなか水が引かなくて何日もかかったと聞いています。</p> <p>今は、高齢者が多く遠くまで行くには大変です。</p> <p>環境センターは壊さずに、災害用避難場所として、このまま残してください。</p> <p>そして、鶴野第2公園は、子ども達の育成のため、健全な外での遊びのためには、何も建せず、今のままを保ってほしいです。</p> <p>子ども達が自由に遊べる場所として、区画整理のときに地元の人たちの願いを込めて提供した公園です。</p> <p>子どもの育成には広い公園が必要です。取り上げないでください。よろしく願いします。</p>		
<p><b>【市の考え方】</b></p> <p>No.3 と同様です。</p>		
修正の有無：無		

No.6	該当ページ：資料 5、9、10、11、12	分類：環境センターの活用
<p><b>【ご意見・ご提言】</b></p> <p>ハザードマップによると、鶴野地域は 3m～5m の浸水予測で、2 階まですっぽりと浸水してしまう地域です。</p> <p>風水・洪水被害の際は、青少年広場は浸水しているおそれがあるし、ポリテクセンター J 棟も市役所も大正川対岸のため、鶴野から簡単に渡ることができない可能性が大いに考えられます。</p> <p>環境センター跡地の建物は、阪神淡路大震災の時も北大阪地震の時も耐えられた強度のある建物であったため、建物自体をそのまま有効活用することを提案します。</p> <p><b>【理由】</b></p> <p>環境センターの建物を解体する計画がありますが、今も未確認の有害化学物質を密閉して粉塵を全く飛散させずに壊すことはほぼ不可能であり、人体への健康被害の心配がぬぐえません。</p> <p>しかも、その後は何も建物を建てることができず、更地にした避難所にするようですが、雨風、寒さ、暑さをしのぐためにはテント類が別途必要であり、十分に安全とも限りません。</p> <p>更地の避難所よりも頑丈な環境センターの建物をそのまま残して、内装をリノベーション工事をして、雨風等しのごの緊急避難場所として有効利用することを提案します。</p> <p>今ある環境センター建物は、3m 未満の浸水予測で 1 階しか水没しない予測です。</p> <p>電気も水道も使えているうちは、既存のものを利用し、電気水道が遮断されたとき用に室内利用できる調理器具物資等を保存しておき、地震災害の時用には外にかまどや水タンクを設置しておけばよいと思います。</p>		
<p><b>【市の考え方】</b></p> <p>No.3 と同様です。</p>		
修正の有無：無		

No.7	該当ページ：資料 18	分類：浸水想定区域内の要配慮者利用施設
<p><b>【ご意見・ご提言】</b></p> <p>浸水想定区域内の要配慮者利用施設一覧の【社会福祉施設】であるグループホームきらら千里丘 住所：摂津市千里丘 6-6-35 が抜けている。</p>		
<p><b>【市の考え方】</b></p> <p>当該一覧に掲載している施設は、本市に所在する要配慮者利用施設のうち、洪水又は雨水出水による想定最大浸水深が 0.5m 以上となる場所に所在している施設を対象としており、ご指摘の施設は対象外であることから掲載しておりません。</p> <p>一方で、前述の対象施設の抽出条件は明記できていなかったため、【資料 18】に追記させていただきます。</p>		
修正の有無：有		

No.8	該当ページ：—	分類：防災サポーター
<p><b>【ご意見・ご提言】</b></p> <p>市民は、居住地域での災害発生の際の自らの行動を日頃より意識し、その対策について、近隣住民と共有し、発生時には速やかに共助が出来るようにしておきたいものです。</p> <p>今までは、その機能の大半を自治会が担っておりましたが、もうそのような組織力は期待できません。また、子ども会・老人会・PTA等も、同様の衰退傾向にあります。</p> <p>今、「協働のまちづくり」や「コミュニティスクール」「鳥飼まちづくりグランドデザイン」等々で、新たなまちづくり、地域コミュニティ創りが進められております。</p> <p>「摂津市地域防災計画」策定には、是非「協働のまちづくり」の概念に基づく地域コミュニティの在り方をベースに、公助・共助・自助の在り方を明記いただき、実効性のある「絵にかいた餅」にならない計画としていただくことが求められます。</p> <p>そのためにも、地域住民のつながりへの参画は不可欠となりますので既存組織に組せず、活動地域の縛りも無い「防災サポーター」の有効活用により、地域住民による防災活動の推進役を担っていただく事が重要であると考えます。</p>		
<p><b>【市の考え方】</b></p> <p>自助・共助・公助につきましては、総則-24に、災害による被害を最小限にとどめるためには、公助に加え、防災の基本となる自分の命は自分で守る「自助」と、共に助け合い自分たちの地域を守る「共助」による防災活動を推進し、社会全体で防災意識を醸成させていくことが重要であると明記しております。</p> <p>また、予防-26及び予防-28に記載のとおり、施設個別の避難所運営マニュアルの作成や地域版防災マップの作成時に、自主防災組織、防災サポーター、民生委員・児童委員、校区等福祉委員会、PTA、学校、民間事業者（指定管理者を含む。）など、多様な関係者が一堂に会するワークショップを開催しており、こうした取組を引き続き実施することで、危機管理の観点から地域コミュニティ創りにつなげてまいりたいと考えております。</p> <p>防災サポーターにつきましては、名簿情報の提供に同意いただいた方の情報を自主防災会に提供するとともに、平常時及び災害時にご活躍いただけるよう前述のワークショップや自主防災訓練、本市が実施する研修等への参加を促してまいります。</p>		
<p style="text-align: center;">修正の有無：無</p>		

No.9	該当ページ：資料 5、6	分類：雨水等の排水能力
<p><b>【ご意見・ご提言】</b></p> <p>令和7年度の摂津市防災サポーター研修講座に参加しました。</p> <p>府道16号線の下に下水道本管があり、大雨が降っても大丈夫とっておりました。</p> <p>私が鳥飼地区に引っ越しする40年前までは、高槻市宮田町に居住しておりました。</p> <p>講座の資料には昭和20年頃に洪水があり、1メートルの浸水があり、その時の状況は体験して子どもながら怖かったのを覚えています。</p> <p>本宅は1.5mほど上にあつたので、浸水はなく大丈夫だったのですが、倉庫の農機具などは浸かって、朝には水が引いてなくなっていました。</p> <p>摂津市内で洪水が発生した場合、予想では5mの高さまで浸かるようなので逃げるしかありません。いつ5mの水が来る（届く）かもわかりません。</p> <p>時間雨量150ミリ、100ミリの雨が降った場合に下水道本管は大丈夫なのでしょう。排水ポンプ能力がわかれば住民は安心できます。</p> <p>今回の防災計画で「パブリックコメント」で追記されるのであれば、事前に洪水の高さ（深さ）がわかると思いますので、府下水道管の排水能力が分かれば防災計画書に追記を希望します。</p>		
<p><b>【市の考え方】</b></p> <p>本市の下水道施設の整備目標として定めている計画規模降雨（10年に1回程度の頻度で発生する降雨）は、1時間雨量48.4ミリとなっており、これは、大阪府北部流域下水道事務所が整備する管渠の排水能力も踏まえて設定しております。</p> <p>一方で、想定最大規模降雨（1000年に1回程度の頻度で発生する降雨）は、最大日雨量185ミリ、最大1時間雨量147ミリとなっており、計画規模降雨を大幅に超えております。</p> <p>下水道などの排水施設の能力を超えた降雨があつたときや、雨水の排水先の河川の水位が高くなつたときなどは、雨水が排水できなくなり浸水することが想定されており、想定最大規模の降雨があつた場合の浸水継続時間を【資料6】雨水出水想定区域図に示しております。</p> <p>また、想定最大規模の降雨により洪水が発生した場合の浸水継続時間は、安威川以南の広い地域で1週間から2週間と想定されており、【資料5】洪水浸水想定区域図に示しております。</p> <p>本計画は、想定される最大の被害を踏まえて立案しており、必要な情報は【資料5】【資料6】に記載していることから、ご指摘の排水能力は追記しないこととさせていただきます。</p>		
<p>修正の有無：無</p>		